

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	いぶき (GOSAT) 観測態勢強化及びいぶき後継機開発体制整備		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成29年度		担当課室	総務課研究調査室		室長 辻原 浩	
会計区分	一般会計		施策名	9-3 環境問題に対する調査・研究・技術開発			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	いぶき後継機の開発のうち、センサー開発及び衛星データの処理・検証方法の高度化開発を分担し、後継機全体として、①地球の炭素循環解明に役立て、気候変動予測の信頼性を高める、②地球システムの炭素循環の変化を検出し、国際的な温暖化対策を促す、③主要排出国の二酸化炭素総排出量を宇宙から客観的に検証する、ことを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> いぶき現行機の運用から得られた知見・課題を反映した後継機センサー全体の概念設計と、観測センサー干渉計機構部の試作試験の実施を行う。 いぶき後継機では現行機に比べて処理すべき観測データが大幅に増える予想されており、その効率的かつ効果的な処理方法を検討するとともに、地上観測、陸域生態系モデル・大気輸送モデルからなる観測システムのプロトタイプの開発を行う。 いぶきによる観測データ等を検証するための比較データは、航空機観測データが最も有効であることから、民間航空機にセンサーを設置し検証のためのデータを取得する。 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	1,352	3,700
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	1,352	3,700
	執行額	-	-	-	-	-	
執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	アウトカムは打ち上げ後に、気候変動予測への貢献、炭素循環変化の検出及び主要排出国の総排出量推定に関し、指標を設定。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	打ち上げまでは、センサー試作、データ処理アルゴリズム開発、打ち上げを定性的なアウトプット指標として設定する。	活動実績(当初見込み)	%	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	公害調査費	1,352	3,700	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(グリーン分野) 3,700 後継機の観測センサー及び衛星本体の設計、試験モデルの作成・試験の実施による増			
	計	1,352	3,700				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	いぶきおよびその後継機による観測は、全球的な温室効果ガスの分布と挙動を明らかにするものであり、国民の関心の高い地球温暖化について、科学的知見の向上と今後の対策に関する政策立案等に大きく貢献するものであることから、国が実施すべき事業といえる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の実施にあたっては、専門的な技術・知見が必要であると同時に、請負者によって様々な実施方法が可能であると想定されたため、総合評価方式及び参加者確認公募で支出先を選定(予定)。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	後継機打ち上げまでの長期的計画の中で今年度達成すべき目標を設定し事業を開始したところ。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	後継機打ち上げまでの長期的計画の中で今年度達成すべき目標を設定したところであり、今後更に事業の進捗をはかる定性的なアウトプット指標を設定して事業を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					